

ビール酒造組合 適正飲酒の効能実証研究助成 募集 (2017-2018 年度)

趣旨	適正飲酒に関しては、いくつかの疾病について、いわゆるアルコールの J カーブ効果が謳われているが、本研究では、アルコールの各 J カーブ効果について実験的に検証を積み重ねていくことで、アンチエイジング（健康長寿）に対する効用を実証していく。その結果は飲酒への過度な忌避を防ぎつつ需要を促進する適正飲酒啓発へ活用する。
対象分野	自然科学および社会科学にわたる全分野
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の大学、短大の研究者 ・国公立並びに国立研究開発法人等の研究機関の研究者 ・その他、本組合で適当と認められた研究者
助成件数 ・金額	2 件程度・1 件あたり最高 150 万円
助成研究期間	2017 年 10 月～2019 年 3 月
募集期間	2017 年 8 月 1 日～9 月 30 日
問合せ先	<p>ビール酒造組合 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-16-7 銀座大栄ビル 10F TEL (03)3561-8386 (代表) FAX (03)3561-8380 Email noguchi@brewers.or.jp</p>
採択者の義務	<p><u>助成期間中に研究成果の中間報告・最終報告を行うこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告会では、要旨を配布しプレゼンを行う ・報告書の提出は不要（要旨・プレゼン資料を提出） ・報告の対象はビール酒造組合、(独)酒類総合研究所、ビール酒造組合加盟 5 社の関係者（関係者とは事前に秘密保持誓約を締結する）
これまでの採択課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「適量飲酒のポジティブ効果」、産業医科大学・三宅晋司教授、平成 24 年 4 月～25 年 3 月 ・「適量アルコール摂取の健康への影響」、広島大学・加藤範久教授、平成 24 年 4 月～29 年 3 月 ・「習慣的飲酒者の心理・行動的特性」、広島修道大学・今田純雄教授、平成 24 年 4 月～26 年 3 月 ・「適量エタノール摂取による変形性関節症予防とその作用機構」、広島大学・松原事典准教授、佐賀大学・萱島知子講師、平成 25 年 9 月～28 年 3 月（佐賀大は平成 27 年 3 月で終

	<p>了)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大腸ガンにおける適量アルコール摂取の影響」、県立広島大学・嶋本文雄教授、平成 26 年 4 月～ ・「アルコールの生体防御・免疫機能に対する J カーブの効果の検証」、広島大学・河本正次教授、平成 28 年 7 月～
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで大学等研究機関、(独)酒類総合研究所、ビール酒造組合の三者による共同研究形態をとっている ・研究における役割担当は、申請者が研究実施、(独)酒類総合研究所は実施支援(研究計画・立案補助、結果分析等、必要に応じ実施)、ビール酒造組合は費用負担を行う ・成果物の取扱いはビール酒造組合の意向を確認の上、学会・論文発表可能 ・飲酒の良い面・悪い面の両側面をフラットに明らかにすることが目的なので、思わしくない結果が出た場合も、ビール酒造組合の意向を確認の上、学会・論文発表可能 ・卒論、修論での実施も可能 ・エビデンス構築が目的なので、積極的な成果報告を推奨する ・ビール酒造組合は得られた成果については、実施者の意向を確認の上、当該ホームページ等で公表する場合がある ・実施者は複数名でも、応募可能 ・内容により、単年度でなく複数年計画での応募も可能 ・助成金の使用は消耗品だけでなく、備品、謝金等に使用可能